



鷹南学園 コミュニティ・スクール委員会だより

令和3年度第2号

発行日：令和4年3月17日

発行責任者：鷹南学園コミュニティ・スクール委員会 会長 吉田 仁 編集：同委員会広報部会

鷹南学園HP



皆さまの支えに感謝！

第5代学園長 中原小学校長 内藤和巳

何ごとも明るく前向きに考えられる人でありたいものです。しかし周囲に自分を支えてくれる人がいなければ、なかなかそういう気持ちにはなれないと思います。

何度も繰り返す新型コロナ感染症の波。ご家庭でもかなり疲れがたまってきたのではないのでしょうか。学校においても出勤できない教職員がおり、担当教員以外が授業をし、オンラインの対応もするという厳しい状況が続いています。そういう中であっても「子どもの学びを止めない」ために「できることをしていく」というのが本学園のスタンスです。そしてそれを可能にするのは、皆さまの理解と協力です。本紙に CS 委員会が実施した学校評価の結果が掲載されています。拝聴すべきご意見のほかにも、感謝や激励の言葉をたくさんちょうだいしました。大いに勇気をいただきました。ありがとうございます。

先日の CS 委員会では、新年度教育課程の審議が行われ、承認をいただきました。皆さまの支えを一層の推進力に変え、CS 委員会と一体となって令和4年度を更り多きものにしていきます。

地域の CS 委員会を目指します

CS 委員会会長 吉田 仁

令和3年度を振り返ると、コロナ禍が続く中、CS 委員会だけでなく、学校・地域の皆さまが伝統ある地域活動や子どもたちへのサポートを継続するため、さまざまなご苦労や工夫をされた年であったと感じております。

そのような状況にもかかわらず、学校や地域団体の皆さまからは、学校支援ボランティアや熟議など、CS 委員会の活動に多数のご協力をいただきました。ありがとうございました。

また、先日の令和3年度学園評価アンケートでは、多くの方から学園の活動に対して忌憚ないご意見をいただきました。結果と意見は学園の先生にお伝えしておりますが、より良い学園生活を作るためにどのような活動をするべきかの重要な情報として活用します。

CS 委員会は鷹南学園の運営に関して、意見を学園に伝える機関ですが、地域の人たちが情報を持ち合い、地域の活動につながる場でもあります。

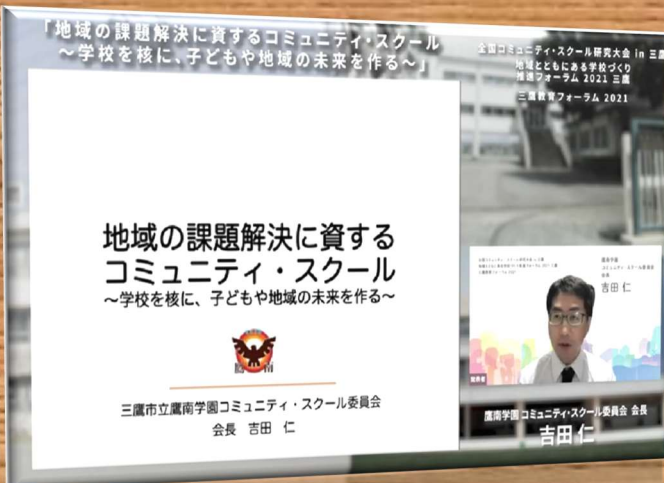
令和4年度は、皆さまのご意見も踏まえ、活動につながるCS委員会になるよう、より活動を工夫します。皆さまのご支援を今後ともお願いします。

三鷹教育フォーラム開催！ 全国コミュニティ・スクール研究大会IN三鷹 鷹南CSも参加しました！

コミュニティ・スクールから始まる
スクール・コミュニティの創造



11月6日(土)
オンライン開催



当日は、残念ながらオンライン開催になってしまいましたが、午前10時から午後4時までの長時間にわたり、フォーラムが行われました。

鷹南学園での学校問題発生と解決
鷹南学園3校で地域の人々と協力して、子どもたちを守り、育てるとともに、「つながり」を得る



鷹南学園も、ホストタウンとして「地域の課題解決に資するコミュニティ・スクール」のテーマで、学園のこれまでのあゆみから地域関連、日ごろの活動・成果などの発表をしました。

CSと地域の活動のつながり

- ・地域ケアネットワーク会長
- ・教育委員会委員 畑巻貴美子氏

- ・これまでのひとのつながりを作るイベントは定例し継続できている
- ・CSの活動の中で知り合った保護者が、その後地域の活動に参加している
- ・世代を超えたつながりが、CS卒業後に続いている
- ・CSの活動が地域の活性化や高齢者の元気な暮らしにもつながっている



アーカイブはこちら